

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する事業者ヒアリング【12】」
2. 日時：令和5年12月7日 14時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

岩澤安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官

櫻井安全審査官※

（核燃料施設審査部門）

甫出安全審査官※

（システム安全研究部門）

後神主任技術研究調査官

GNS Japan 株式会社：

最高技術責任者 他5名

原燃輸送株式会社：

設計・開発部 開発 Gr マネージャー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

資料1-1 補足説明資料 16-2 第十六条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 臨界防止機能に関する説明資料

資料1-2 補足説明資料 16-3 第十六条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料

資料1-3 補足説明資料 16-5 第十六条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 閉じ込め機能に関する説明資料

資料1-4 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:47	はい、それでは順次、担当の方から説明をさせていただきたいと思いま す。
0:00:55	はい。
0:00:57	GNSJapanのモンマといます。
0:01:00	順番として
0:01:03	委員会から経済部、
0:01:09	はい。
0:01:16	はい、じゃあそれさん資料の9番、
0:01:19	通りである。
0:01:20	まず、原価の話からちょっといただきます。
0:01:26	補足説明資料は資料1-1で、
0:01:30	あとはパワーポイントの資料が、
0:01:35	後面取りし、
0:01:37	資料1-5とありまして、
0:01:40	これを使いながらちょっとご説明したいと思います。
0:01:46	まずですね
0:01:48	これまで
0:01:51	印鑑についてもですね、
0:01:55	さんのコメントいただきまして、
0:01:59	まず、コメントリストからちょっとご紹介した方がいい。
0:02:03	コメントリストですね
0:02:07	今日もにご説明しようと思って、
0:02:14	今年の、
0:02:18	8月8日の、
0:02:20	イマダのヒアリングのコメントかな。
0:02:24	だから、
0:02:26	10月11日の書面審査のコメント関係。
0:02:33	それからあとその以前にもですね
0:02:36	燃料の仕様の確認っていうのが、
0:02:43	の3月に終了とか、
0:02:46	ヒアリングですね。
0:02:48	あと、4月の14日にもある、やっぱ燃料関係の、
0:02:53	コメントがございまして、
0:02:57	その辺の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:01	ピストンというか、該当関係を
0:03:05	どこにどういうふうにしてるかっていうのをご説明していきたいと思い
0:03:18	まずですね 8 月 8 日のヒアリング関係で、
0:03:23	委員会関係の、
0:03:25	としましては、
0:03:30	アノいただいています。
0:03:35	栗栖との、ちょっとページがオオウチて申し訳ないんですけども、
0:03:39	令和 5 年の 8 月 4 日の 6 番、
0:03:44	から 9 番。
0:03:46	今野臨海関係。
0:03:49	あと書面審査の方は令和 5 年の 10 月 11 日。
0:03:56	1 の(1)、1 の(1)二つございます。
0:04:04	それでまず 8 月 8 日の方のコメントの
0:04:08	うん。
0:04:09	採用の方から欠点、かいつまんでご説明いたします。
0:04:14	令和 5 年 8 月 8 日の 6 番っていうところ。
0:04:22	これは、
0:04:25	兵庫ナツメし後は別紙の 1。
0:04:29	うん。
0:04:30	についての設定根拠
0:04:32	はふやせます。
0:04:43	パワーポイントの資料と言いますと、
0:04:48	14 ページ。
0:04:53	それから、
0:04:55	説明資料と言いますと、
0:05:03	裏も 14 ページですね。
0:05:07	むしろ
0:05:08	悲しい。
0:05:09	なんです、
0:05:11	ここで
0:05:15	設定県境のところを
0:05:19	うん。
0:05:21	した形で、
0:05:25	そこの表 5 のところはですね感度解析の傾向とそれから、
0:05:33	実際の進行の講座を考慮した設計人材センター、それで設定してる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:41	それして、
0:05:42	黄色のところこここのところ、
0:05:45	入っております。
0:05:47	ちょっと具体的な数字は出ていますという場所になってますが、
0:05:51	行ったことない。
0:05:53	いうところがまずこのところ。
0:05:57	から、
0:05:58	同じ8月4日のコメントで7番っていう
0:06:05	こちらの方は、言葉の
0:06:08	適切な使い方ということになると思いますが、
0:06:12	熱伝導及び中性子吸収さいという、
0:06:17	部材の名前があるわけなんです、これがちょっと文章の中でちょっと わかりにくいというか、誤解が生じるような、
0:06:28	表現になってるっていうご指摘がありましたので、
0:06:31	ここをちょっと修正してるというのが、これ、ここ。
0:06:37	でこれについては、
0:06:39	パワーポイントですと、
0:06:42	10ページ目。
0:06:44	になります。
0:06:45	黄色のハッチングしてある。
0:06:49	及び中性子吸収材というのをちょっとアノ続けまして、中性子吸収材と 呼び方をお願いします。
0:06:58	それから、補足説明資料でも、
0:07:02	この資料、
0:07:06	後ろの方は、6ページ目です。
0:07:10	9ページ目の
0:07:13	下から、
0:07:15	うん。
0:07:17	9行目ぐらいですかね、ここで同じような、パワーポイントと同じような整 理だっけ。
0:07:22	修正させていただいてます。
0:07:28	から、同じ8月18番。
0:07:33	の方はもう、
0:07:34	収納物用のウラン。
0:07:37	長小村ん終了。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:39	ないについて、
0:07:42	うん。
0:07:46	指名することという、
0:07:59	製品
0:08:02	ページ評価ありますけども、
0:08:05	左側の表の、
0:08:07	9の3番ですね、ちょっとこれ小さくて見にくいので、
0:08:11	補足説明資料の方も同じように書いてますんで、
0:08:17	10ページ目ですね、10ページ目の表1、
0:08:23	表示の注3のところ、
0:08:26	黄色でハッチングしてるところになりますが、
0:08:29	中部飼料、
0:08:31	解析条件の重量が違うというのは、
0:08:35	解析条件の方の重量が、
0:08:39	表面とって、
0:08:41	資料。
0:08:43	10ページ。
0:08:50	ありまして、こちらから計算して、
0:08:53	比留間村牛井になるので、
0:08:55	ノモトのアノ州の治療も、
0:08:59	協力をしません。
0:09:04	結果的にはですねこの表の仕様を使って計算した重量が、
0:09:11	費用よりも、
0:09:13	保守的な状況になって、
0:09:16	というふうには考え。
0:09:23	8月8日の9番のコメントになりますが、
0:09:27	こちらの方パワーポイントで言いますと、13ページ。
0:09:37	13ページ目、パワーポイントの13ページ。
0:09:46	現状は、
0:09:47	項目があります。
0:09:49	こちらの方が、
0:09:53	探傷だけ書いてあったんですけども、
0:09:56	ちょっとそれだけ。
0:09:58	わかりにくいという。
0:10:00	うーん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:01	言葉で説明しております。
0:10:05	同じように種類って言う状態を、
0:10:11	それから、
0:10:14	継続する。
0:10:16	変なしで、中心に入って、
0:10:28	資料
0:10:33	10 ページ。
0:10:46	8 月 10 番。
0:10:53	後はですね。
0:10:57	燃料、核燃料の、
0:10:59	公聴会率計算結果が、
0:11:03	概要説明書のパワーポイントと違ってたっていう
0:11:09	こちらの方は、
0:11:17	対応を説明する。
0:11:31	パワーポイントで見ますと 15 ページ目。
0:11:37	から、
0:11:41	17 ページ。
0:11:46	それで
0:11:51	今回、
0:11:56	今日の資料、
0:12:05	その新しい年齢
0:12:09	領収提案
0:12:15	これは前回、
0:12:21	事案の発生。
0:12:25	それから後は、
0:12:28	提案。
0:12:30	15 ページ、15 年度のA型とB型からの、
0:12:37	が先になって、それぞれ、
0:12:39	委員会、購買精算結果の、
0:12:47	関係は、
0:12:54	なんか
0:12:55	左の関係も、
0:12:59	中学求人、
0:13:01	アノソネニシナ。
0:13:02	関係。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:06	二つあります。
0:13:09	ん。
0:13:12	津波という感度解析コードの
0:13:18	使用に対して、
0:13:22	改正コウノ使用実績とか、関連する意見も聞いて、
0:13:27	妥当性を説明すること。
0:13:36	PowerPoint法案、17 ページ。
0:13:42	説明資料、
0:13:48	30、
0:13:53	パワーポイントの補足説明資料の方も黄色で始めておりますが、
0:14:01	ミナミプログラムにつきましては、
0:14:06	定刻において、
0:14:10	IBM
0:14:12	こちらの方を参照して追求しております。
0:14:19	から、
0:14:26	こちらの方は、
0:14:34	バスケットを、の構造からして、
0:14:41	9、
0:14:43	排水。
0:14:49	吹き溜まりとか、もしくは水が抜けにくいとか、そういったことがある。
0:14:54	イマイっていうところは、
0:14:59	今回ですね。
0:15:09	パワーポイントで言いますと、
0:15:12	16 ページの、
0:15:15	ですから、
0:15:18	説明資料、
0:15:24	42 ページ、43 ページ。
0:15:29	ここは、
0:15:34	排水の中継、
0:15:59	うーん。
0:16:02	ううん。
0:16:06	高低差というのが、
0:16:19	感度解析
0:16:24	結ぶ。
0:16:30	計算の過程、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:34	部門関係ですね。
0:16:38	パワーポイントの方に、
0:16:45	うん。
0:16:46	ステップの底盤のところ、
0:16:51	から、
0:17:09	の、
0:17:10	期間、
0:17:22	感度解析の結果っていう
0:17:38	接種、
0:17:42	1は補足説明資料の20ページ目から始まりますが、
0:17:53	26ページ目の表のV3、
0:17:59	26ページ。
0:18:07	株の申請というところ。
0:18:22	等々はない。
0:18:36	対応関係はいいと思うんですよ。
0:18:38	あと補足説明資料、
0:18:47	申し上げ、
0:18:49	燃料の使用を
0:18:52	再確認した結果で数字を変えてるっていうところで、
0:18:56	表関係。
0:18:59	不安。
0:19:01	そのの、
0:19:05	再度見直し、
0:19:10	赤いところで、
0:19:22	やはり規制庁マツノです。
0:19:25	では質疑の方に移りたいと思います。
0:19:30	何か今の説明に関して、
0:19:33	確認質問がありましたらお願いします。
0:19:42	じゃ、両あげます。はい。
0:19:46	織田さんお願いします。はい。
0:19:48	規制庁の方でございます。
0:19:52	等、
0:19:53	例の注水時の水位の話ですね、
0:19:58	補足説明資料とかは、今パワポの方でも行っていただきましたけども、説明の趣旨っていうのは、補足説明資料別紙4、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:09	42 ページに記載されてることを踏まえて、こちらの理解をまず申し上げますと、それぞれ流路として考えた時の
0:20:22	今般、コンパートメントっていうか、燃料がいる領域と、ウォーターギャップの領域でそれぞれ、それを水、流路と見て圧損の計算をやりましたと。
0:20:33	何かの一部の水位が上昇する時の圧力算定を行いましたということで、こういうことをやった結果、
0:20:43	そんな大したことないよということを、計算されたと言うことは理解いたしました。
0:20:54	それです、ただどのようにね、いろいろ数字を入れていただいて説明いただいているんですけども、
0:21:06	どのような水路を仮定しているのかとかですね、圧損の係数は何の圧損係数を用いたんですかと。
0:21:18	多分、参考文献の方でこれ確か、
0:21:22	ドイツの方のですね、何か多分流体力学の教科書かなんかの数値出てると思うんですが恐らくはオリフィスを通る流路の圧損だと思うんですけども、
0:21:35	そのあたりでね、どのような形態のものの圧送を、形状の流路に対しての圧損を評価したのか。
0:21:45	いう説明をですね、やはりが必要ではないかなと考えてます。
0:21:50	例えば、ここで言うと、
0:21:54	その説明のためにはですね、やはり今
0:21:59	パートの方でですね、
0:22:02	全体のバスケットの絵と、それぞれ下部の、底盤のところと、
0:22:12	hpmのところの鳥瞰図的なものをね、示していただいていますけども、
0:22:17	これをじゃあどのように流路として考えてやったのかということですね、その辺を例えばモデル化の考え方みたいなのをちゃんと示していただく必要があるんじゃないかなと。
0:22:29	いうふうに思います。その上で
0:22:33	実際こんななっただけでも、こういうモデルにしましたよということで、このように保守側の圧損が出るような考え方に基づいてやっていますと。
0:22:44	ということで、だから、バスケットの実形状とそのモデル化で考えた結果で、
0:22:51	ところの圧力損失係数ですかねGタダですかね。ここのある数字出てますけども、この設定自身が保守側ですよと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:03	このバスケットの形状をこのようにモデル化しました。このモデル化はこういう、こういうルール、流路なんで、圧損は、圧損ケースgたはこれこれにしました。
0:23:16	これが 21 段あるから、トータルの圧損はこうなりますと、いうふうなことがですね、今文書でこう書かれてるんですけども、そういうことで、書いていただきたいなというふうに思いますので、
0:23:30	やってること、おそらく問題はないであろうと、いうことは、世の中の一般的な生活から見てこれだけ穴が空いてればですね、おそらく、
0:23:41	アベができるとかですねそういうことはあんまり考えづらいかなというようにも、思いますので、数値と数値、結果としては、結論としてはこれで問題ないと思うんですけど、
0:23:54	ただそのプロセスについてですね、その考え方がわかるようにちょっと追記いただければと思います。以上です。
0:24:03	はい。
0:24:08	ちょっとその辺の考え方の案地域が、
0:24:14	検討させていただき、
0:24:18	はい。
0:24:19	規制庁ホデですけども、先ほど申し上げました通り、おそらく計算のプロ。
0:24:26	実際おやりになったプロセスってのはそんな間違ってるとは思いませんので、
0:24:30	その辺がこの通りやったんだなこんなモデル化してるんだなあというようにわかるようにしていただきたいと思います。以上です。
0:24:42	実際ちょっと寸法関係とか、ちょっとマスキングにはなってしまうと思う。
0:24:51	規制庁ですけども、
0:24:57	本当に必要な数値っていうところでそれがどうしても松木ぐらいはマスキングしていただいてもいいですけども、要は、
0:25:04	実際このように流れますそれをこのようなモデル化しましたっていうことを、がちゃんと理解できるようにしていただければと思います。
0:25:12	はい。以上です。
0:25:18	規制庁マツノ。
0:25:20	では私の方から 2 点になる。
0:25:29	12 ページ目。
0:25:32	山林堆積条件表があるので、
0:25:38	解析条件。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:41	燃料配置。
0:25:44	これ、
0:25:46	されてるんですけども、
0:25:49	今日、
0:25:52	理解が、
0:25:57	読んで、
0:26:00	大丈夫。
0:26:01	確認したいんですけども。
0:26:03	まず
0:26:04	同じ燃料の種類でっていうのは、
0:26:07	15 燃料 17、それぞれの燃料でっていうことで、
0:26:13	はい。そういうです。はい。はい。燃料集合体全数増加 0。
0:26:19	燃料集合体(3)は、
0:26:22	正方変化なしでっていうことで、
0:26:25	ウノさんの方にコウ。
0:26:29	図の 3 を見ると、
0:26:33	16 ページ目に、
0:26:35	3 がありますけども、
0:26:39	それぞれ 15、
0:26:41	燃料と 17 燃料の燃料集合体臨界解析モデルの断面図。
0:26:47	保冷。
0:26:50	で文章を見ると、並行本科なしっていうのは、これどういう意味。
0:27:00	通算は
0:27:01	一つの更新の
0:27:09	径方向と言ってるのは窃盗、
0:27:12	再度の平方根の話。
0:27:18	さんだけでは
0:27:23	これは、
0:27:24	ちょっと、
0:27:25	径方向変化なしっていうところと、バスケット格子の中心廃棄っていうところもっと具体的に、
0:27:32	ちょっと、
0:27:34	木本さん。
0:27:35	では多分終了状態。
0:27:37	普通しか示してないので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:40	その辺りがわかるようにちょっと図で示してもらおう。
0:27:45	ちょっとほん中さんだけで私、
0:27:51	ふうん。
0:27:55	点目ですけども、
0:28:01	プログラム、
0:28:10	30 ページ目。
0:28:17	いろんな部分で、
0:28:22	IAEAの接続の方法、
0:28:28	ああいう、
0:28:30	してますけど、これ具体的に何がし、
0:28:34	あともうちょっと日本語で書いてますけど、
0:28:39	まずここに書いてある、ドイツの他でご説明して、
0:28:46	感度解析。
0:28:48	つまり、
0:28:50	機能間の、
0:28:53	要はTECDOCの中には実際西元さん。
0:28:57	なるほどアノを使ったの。
0:28:59	評価。
0:29:07	具体的にちょっと接続の文章を示して、詳細ちょっとわかりやすく説明ができ、
0:29:14	はい。具体的に
0:29:17	ここに
0:29:19	書いてある。
0:29:21	解説というか、
0:29:25	はい。
0:29:29	その下の
0:29:30	感度解析や最適な委員会、
0:29:33	10 件、二つありますけど、5 時でいいですか。
0:29:39	そこは修正ヒガシ。
0:29:46	その他、
0:29:49	質問がありましたらお願いします。
0:29:52	私の方から記載について、
0:29:56	3 点。
0:29:57	お聞きさせていただきます。1 個目は補足説明資料 16-2 の 10 ページに、表 1 の中の初期濃度で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:12	もともと、
0:30:13	ユキ濃度は 4.1 とかだったんですけど、これ 4.05 とか 4.15 とか、
0:30:20	2、
0:30:21	例えば収納物使用ですけど、
0:30:24	それを変更し、してるのは、なぜですか、結局社保にしたのが同じですけど、
0:30:32	はい。
0:30:33	着任すると。
0:30:36	これは
0:30:37	解析条件を変えたってことですか。
0:30:41	まず収納物のところで
0:30:44	運用の仕様について
0:30:47	事業者の方に再確認した。
0:30:51	欠カーの結果で
0:30:54	まず諮問資料側の修正。
0:30:56	しております。
0:30:59	ふうん。
0:31:00	二つ目、はい。なんですけど、次の 11 ページの燃料データをもらった時に新しいデータがもうちょっと細かかったってことだと思うんですけど 1055 燃料を、
0:31:14	AとBっていうふうに多分、この前ホデさん方からちょっと 1055 年によって何かおかしくないっていうのだと思うんですけど。
0:31:24	この 1055 燃料をA型B型っていうのは分けて、
0:31:29	記載直してるっていうのも、同じように、向井電力側に聞いたところ、やはりAとBオカれてて、かつ、
0:31:40	ナカノ燃料のこの値はちょっとマスキングなんて言わないですけど、かもこの今回変更いただいたところが違っていたってことなんですかね。1077 の方もそうなんですか。
0:31:52	1055 だけじゃなくて、1077 の方を、今回を一新したというか、
0:31:58	はい。なあ。
0:32:01	イシタの燃料使用ですべて見直してます。
0:32:06	うちの方は、2000、A型B型の分けて示しておりませんでしたので、
0:32:15	ハマダ、
0:32:21	わかりました。これ燃料データって多分補正に関わる点だと思うんですけど、そういう認識でいいですか。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:31	はい。その認識で。
0:32:33	結構です。最終的には申請書側の整合性取れても、はい。
0:32:41	わかりました。ありがとうございます。もう一つが、35 ページ補足説明資料の 35 ページの津波のコードのはなCでも、
0:32:54	ちょっと細かい話なんですけどコガこの 35 ページの 2-1 の表でベンチマークの結果っていうのがあって中身これあれマスキングですよね多分。
0:33:07	なんですけど。
0:33:08	数字とかは言わないんですけどこの相関係数っていうのは、我が前の出してもらったやつと変わってるんですけど、例えば、実験値とか計算値っていうのは変わってなくて、
0:33:20	これ何で相関係数が変わったんですか。
0:33:24	もってその燃料使用の
0:33:28	再確認の結果で計算し直していますので、もうここの相関係数っていうのがその燃料データから出てくるやつってことなんですかね。
0:33:39	それを使って実際にベンチマークの結果、
0:33:43	あと麻生さん、お母さんを見てるっていう表とするので、この表も見直している。
0:33:50	うん。でも実験値とかは変わらないんですよ。そうですね。もともとのデータベースは変わりません。
0:33:57	よくわからないんですけど、何かその式の、
0:34:01	式の一部が変わったら、何か変わりそうな気もするんですけどそれは次。
0:34:06	変わらないんですよ。
0:34:10	はい。はい。
0:34:14	私からの確認は以上です。ありがとうございます。
0:34:27	はい。
0:34:29	何かあれば、
0:34:33	ないようですね。次の遮へいの説明をお願いいたします。
0:34:51	遮へいについて
0:34:56	パワーポイントの資料、
0:34:58	主に変更したところろから説明させていただきます。
0:35:03	主に変更したところろですけども、
0:35:08	パワーポイントの資料で、
0:35:15	20 ページのフォロー、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:18	ここに
0:35:21	燃料の使用が重篤性集合正確なんだな、P定義ありますけどここは今、
0:35:29	臨海の方でもありましたように、年度費用、事業者さん、
0:35:36	2回確認をして、このように、
0:35:41	この表にあるように変えております。
0:35:46	それが一つの大きな
0:35:50	でその次のところに、
0:35:53	パワーポイントでは23ページになりますが、ここにオリゲンの放射線強度評価結果、1077で
0:36:03	ございます。その上にちょっと文章を書いてあるんですけども、
0:36:07	放射線共同
0:36:10	具体的には燃料の濃縮動、
0:36:15	オオノ設定についてご質問がありましたのでその辺も含めて今回見直したということで、ちょっと文章がございますけども、
0:36:25	同じ燃焼度の場合、濃縮度の低い方が線源強度が強くなるという場合もございますので、
0:36:35	そういう観点で
0:36:37	この燃料の費用を、
0:36:41	具体的にはですね、4万4000円とか4万8000、以下の燃焼度のものは、
0:36:51	低い値、濃縮度のものは、燃焼度が低い
0:36:57	球9000円以下の年収であるために、技術的な整然強度は低いと。それから、15ページ5のタイプAの2.8%これは
0:37:08	へー。
0:37:09	ある後程幅があったんですけども、2.8、一番低い濃縮増の燃料で計算をするということで、
0:37:20	もしくは風向が比較的高い線源強度を持たせてこれを考慮したと、こういうことを踏まえて、燃料使用、
0:37:30	それから解析条件の設定を
0:37:33	見直したと。
0:37:34	というのが、一つの大きな
0:37:39	それからこのパワーポイントの方ではですね、少し進みまして、
0:37:47	少し、
0:37:49	28ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:52	時間ございます。これ遮へい解析モデル、いわゆるMCNPVIで解析して るんですけども、その
0:38:03	計算、モデルといいますか、その辺についてご質問がございましたの で、具体的な計算、
0:38:13	結果ということで、ご質問のあった中性子遮へい材防除ポリエチレンで すけども、その辺りのMCNPの計算方法、
0:38:24	要は妥当かどうかということについての
0:38:29	説明になります。ここにありますように左側の中性子束分布それから右 側にありますように統計誤差分布を見ましても、
0:38:39	この中性子遮へい材ポリエチレンですけどそれがニイツつーございます けども、そのから生じる急逝する滑らかな分布の変化が監査され
0:38:52	それから統計調査も5%以下ということで、この
0:38:57	いわゆるMCNPの計算野瀬
0:39:02	物産の制限、Aの設定は妥当である。
0:39:07	いうふうに、
0:39:10	それから、あとは
0:39:13	この以下、例えば29、20 頁 30 ページ等はもちろん計算燃料のスペック を変えてございますので、
0:39:23	この辺計算結果が、すべて見直したのになっております。
0:39:32	計算結果が挙げられて、
0:39:35	それで最後の
0:39:39	36 ページのところ、
0:39:43	いわゆる設置許可基準への適合性として、
0:39:49	表面と1メートルのところの
0:39:53	線量当量、
0:39:54	ここも計算し直したもので、数字は変わってございますけども、結論とし ては、表面及び表面から1メートルにおける線量当量率は、
0:40:07	非常時ニイツPower及び100枚スズキフタミ間であり、設計の妥当性 を確認したという点は、変わって
0:40:17	ございません。
0:40:19	それから、
0:40:21	最後のですね、
0:40:24	この検証の関係なんですけども、30、9 ページのところ、前がございま すけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:32	ご指摘で、検証ではキャス達V19 という、今申請してるキャスル事業、26 でピークが少し違う。
0:40:45	形状でございますけども、これをこの
0:40:51	30 ページ、失礼、39 ページのこの絵の対応でございますが、
0:40:56	まきヤストール右側が強度分布、左側がこの今回の 26 定数でございますけども、この二つのキャッシュ、収納する燃料集合体数は 26 歳で 29 体と答えますけども、
0:41:13	いわゆる呉急線、
0:41:15	根菜、それから、損ねて、
0:41:19	上でトラニオン、それからこの
0:41:22	2 列の出席者名簿、これ 1 点ですけども、構造の特徴はどう状況でありますので、このキャストフクイ 19 の遮へい結果の検証結果は
0:41:35	今回の中に十分適用できるというふうに、
0:41:40	判断してください。
0:41:41	それからその下の 40 ページでございますが、これも
0:41:49	ヨーロッパで実際のキャッシュでまきヤストールV19 でございますけども、
0:41:56	ベップの表面。
0:41:57	の線量。
0:41:59	と、大江からMCの解析値の比較を
0:42:05	FIで示したものでございますけども、系統的には 30%の保守性があると。
0:42:13	いうことでございます。
0:42:15	ただ、若干、計算値が測定器を下回るという
0:42:19	場合もございますけども、この 40 ページの図のうち灰色の領域でございますけれども、10%程度のステージの不確実性がございますので、
0:42:31	こういうのを考慮すると、MTチェックによる解析結果、今回の保守的な関西BSMモデルですけども、30%の保守性があるということで、
0:42:43	全体的には発生値よりも保守的な結果を終えていると。
0:42:49	結論といたしており、
0:42:51	要点だけ。
0:43:01	次の方に移りたいと。
0:43:04	はい。
0:43:06	ホデさんから。
0:43:07	はい、了解です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:10	ですね。
0:43:13	明日でしょ。
0:43:18	先ほど、
0:43:20	線源強度算定に用いる燃料の初期濃縮度のご説明いただいたんですけども、
0:43:26	この中の文章で、これらのこれ何ページかな。
0:43:31	補足説明資料の 10 ページなのかな。
0:43:44	と、
0:43:47	すいません。
0:43:51	これら五つの燃料は全体として、最大の線源強度をもたらすということで 1055 燃料タイプ 2 は 4.0%未満、10774.1%未満の燃料は存在するがこれらの濃縮の違いは、
0:44:10	39 基が云々ということの記載がなされています。これ先ほどのご説明だと、何ヶ所相関のようなことを、ご説明があったというふうに思ったんですが、
0:44:27	本当ですかって言うのがまず一つですね要はここで示されてる 4 とか 4.1 っていうのは、いわゆる濃縮度のみなんで、
0:44:40	要は濃縮度っていうのは公差を持ち、
0:44:44	馬高さはもちろんあってこれ大体、こちらの認識としても±10.05%という認識をしているんですけども、
0:44:57	要は、
0:44:58	それであればですね先ほどのご説明の中で低いほうの、
0:45:04	その実際の、
0:45:06	濃縮度を持つ幅の中で低い方の例えば初期濃縮動、
0:45:11	おうち用いた方が線源線源強度は高くなるというふうなご説明をいただいて、そこは認識は、位置しているんですけども、
0:45:21	だから 4.1%でやって 4.0%っていうところと繋がらないように思うんですね。
0:45:28	端的に言えば、例えば、
0:45:32	もしこのGNSのお考えに基づけば 1077 であれば、4.05%とかですね。
0:45:40	そういうものに対して線源強度を出すべきというふうに考えて、こちらとしては、そのように判断しておりますし、
0:45:49	ここで申し上げる話かどうかわかりませんが、要は他の申請他の案件においても、やはりその辺は当然先ほどの委員会の説明では、最も高い初期濃縮度で、反応度反応度の関係。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	からするとそうなるんですけど、委員会ではそちらを使う。
0:46:09	で、遮へいでは、この線源強度を求めるときには低い方を使うという考え方で一応これが一番保守ですこちらですよというふうな、
0:46:21	説明をされてるというわけなんですけども、であれば、4.1%とか、この4.0%を使うことということの妥当性っていうことは説明ができるのでしょうか。ちょっとお考えをお聞かせいただければと思います。
0:46:37	以上です。今ご指摘ございましたように
0:46:41	例えば 4.0 とか 4.1 ですけども臨界の方は割とキノシタ高め、
0:46:47	のももちろん幅がありますので、この遮へいでは、その中では一番低い 4000 で 4.1 を使って、
0:46:57	だから、
0:46:58	燃料で 4.1% で出荷されてるものは 4.05 から 4.15% まで、ばらつきがあるんだったら 4.05% でやるべきではないですかと申し上げています。こちらは、
0:47:10	4.0 の方の申請が、
0:47:14	同じ燃焼度であれば、いや、だから 4.04. 0 であれば 3.95% ですか、今回の、いろいろ事業者の方からご確認されたという内容からいけば、
0:47:27	先ほどどっかで出てたと思うんですけど濃縮度の高さっていうのは、± 0.05% で先ほどのご説明であれば、その範囲の中で、実際に 48 の炉心に放り込まれて、3 サイクル燃やすものっていうのは、
0:47:43	4.05% とか 3.95% もあるということになりますよね。結局、
0:47:48	であればその条件に基づいて評価されるべきではないですかっていうふうに申し上げます。以上です。そういう意味ではこの、ここに書いてございますけども、4% 以下というものを、
0:48:01	実際の電力さんからの情報によりますと、燃焼度が 4 万 8000 ではなくって、いや、ちょっとお待ちください。それは誤解です。
0:48:13	だから、4、だからそのヨンパチ燃料として出荷されたものの実際の初期濃縮度っていうのは、4.05 から 4.15 までである。
0:48:24	その燃料は 4 万 8000 の炉心で 4 万 8000 まで燃やされてるっていうのが事実ですから、それを踏まえて考えていただきたいというふうに申し上げます。
0:48:33	その範囲で、4.0 が、一番の食堂は低い数字、低くないって言ってるんです。これ伸びなるでしょ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:43	ちょっと事業者さん、事業者のその辺を各自ご確認いただいた上で、先ほどもご説明いただいた内容に基づいて、整合性のあるシナリオで条件を定めていただければ結構です。以上です。
0:49:06	提供です。
0:49:08	私の方から、
0:49:14	この 16 ページ目に、
0:49:19	2 の、
0:49:22	原料集合体バーナブルポイズン集合体の収納 1 条件。
0:49:28	これ燃焼度とる冷却期間。
0:49:31	黄色いまわさで、
0:49:33	ユキ修正されてますけども、
0:49:35	これ修正理由を、
0:49:38	ご説明お願いです。
0:49:45	これも先ほどさました事業者さんからの
0:49:51	データを再確認してこのように、
0:49:54	直したということで連携機関、
0:49:58	ノーと
0:49:59	いわゆる遮へいのものから見て、この
0:50:03	電源以上のものを収納するという、
0:50:06	設定をしたということでそういう意味では、年度費用を元に見直したという、
0:50:12	核になるんですけども、
0:50:16	13 年から 16 年、またはその
0:50:20	DCのは、24 年から 30 年、
0:50:24	これ、どういう、
0:50:28	なぜ 30 なのかそれともこれ全部変えると今度遮へい以外にも多分臨界除熱に多分影響してくると思うんですけども、あとこれ補正にも影響してくると思うんですけども、
0:50:38	そのあたりはどう考えてますか。どういう。
0:50:41	私が説明。
0:50:43	方がいいですか。
0:50:49	冷却期間の設定。
0:51:40	GNSJapanのサエグサです。事業者からいただいた新しい使用済み燃料データのを、
0:51:49	情報に基づいて、このGNSのキャスク

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:54	が想定するは、発熱量に合うように、冷却期間をふやしたということです。
0:52:03	冷却期間をふやすことによって福田の安全機能への安全評価への影響ってあるんでしょうかなんでしょう。
0:53:03	途中野洲ジャパンの三枝です。
0:53:06	このように、冷却期間を延ばしたことによりもちろんその
0:53:10	ところ遮へいですが、
0:53:12	リング除熱の方にも影響あって、それについては、これに合わせて直しているということです。
0:53:24	委員会は影響ないんですか。
0:53:26	委員会は、
0:53:32	委員会は、新燃料を前提に計算しているので、ここには影響ありません。
0:53:39	これじゃ補正するっていいですか。はい。
0:53:47	はいJNES Japanサエグサですこれは補正させていただきます。
0:53:54	私、
0:53:55	以上です。
0:53:59	その他、お子さん、
0:54:05	規制庁のゴコウです。
0:54:07	パワーポイント資料の 28 ページ目のところなんです、
0:54:13	遮へい解析モデルというタイトルのところで、
0:54:17	ここは
0:54:19	分散低減パラメーターがちゃんと設定されてるか、ちゃんと確認されますよねってところで、出してもらった図で、
0:54:27	綺麗な図が、出してもらったので、
0:54:31	かなりわかりやすくなったと思いますし、
0:54:37	ただ正しく計算されていればこうなっているだろうなっていうのも見て取れるかと思しますので、結論としてこれで大丈夫かとは思いますが、ちょっと表現のところ、
0:54:48	修正が必要か検討してもらいたいんですけども、
0:54:54	補足説明資料の方で、
0:54:57	19 ページ目。
0:55:00	に、同じところがあって、
0:55:03	(5)再解析モデルとあって、
0:55:07	最終段落のところですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:17	ここで、図 4 括弧Aは、中性子遮へい体の中性子束分布を示してますと、次の行のところで、この図 4(エ)が示すように、
0:55:28	とあって、床コウ、
0:55:31	で示してる中性子が 2 列目によって効果的に減速されることがわかるとあるんですけども、この図はさっき、書かれてあったように、
0:55:41	中性子束分布つまり中性子の数だけしか示されてないので、この図だけから減速されてる、つまりエネルギーが変化してますよってというのは、
0:55:51	この図だけからわからないはずなので、ちょっと
0:55:56	文章の表現として、
0:55:58	適正、的確ではないところがあるかなと思いますので、
0:56:02	ここは
0:56:03	適切な表現に差し替えてもらって、事実をちゃんと図を使いながら説明できるように修正いただきたいんですけどもいかがでしょうか。
0:56:14	元素食うを示してるではございませんので、
0:56:17	そこは、
0:56:22	規制庁の方向です。はい。結論として特に間違ってるとか、そういうところはないかと思しますので、よろしく願います。
0:56:30	次なんですか。
0:56:33	同じ補足説明資料の 28 ページ目。
0:56:44	上から 6 行目、第 2 段落の 3 行目の最後の方に統計的チェック。
0:56:53	使って
0:56:56	統計誤差の分析をしますよという文言があるんですけども、
0:56:59	まずこの統計的チェックって他のところでは 10 個の統計指標とか統計チェックとかいろんな呼び方で出てくるんですけど、全部同じものということでもいいですか。
0:57:09	ちょっと両方が、
0:57:14	はい、規制庁の方向で、用語の統一のところよろしく願います。それでこの統計、ここで書いてある統計的チェックなんですけども、具体的にどんな確認をして、
0:57:26	どう、どう評価していくかっていうのが
0:57:30	審査が先行してる三菱とかトランスニュークリアの方ではかなり詳細にデータを示してもらいながら、
0:57:38	こういう方針で、こういう、こういうところが見られれば、
0:57:44	この評価は信頼性が高いっていうのをしっかり説明してもらっているの で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:49	同じ程度の粒度で、
0:57:51	説明を加えていただきたいので、
0:57:55	他社さんと必ずしも同じ評価の方法でなくても当然結構ですし、GNSなりのノウハウとやり方があると思いますので、
0:58:05	要は
0:58:08	統計的チェックっていうのは、MCNPのアウトプットファイルに、
0:58:13	10個の指標が現れてそれが合格です、0 不合格です×という情報が出てきますけども、
0:58:21	それだけを
0:58:23	ただ見て、
0:58:25	何も内容がわからずに、アウトプットタダ信じている。
0:58:30	確認しているだけではありませんよというのがわかるようにというところが一番の趣旨になりますので、
0:58:37	しっかり分析して自信を持って間違いがありませんっていうのを、
0:58:41	このように確認していますっていうのをもう少し、
0:58:44	説明を具体的に加えていただきたいんですけども、いかがでしょうか。
0:58:52	NHKさん。
0:58:53	ここでは、その10項目という言葉だけで、
0:59:02	その辺はもう少し細かく、
0:59:04	切れてきた。
0:59:08	規制庁の方向です。よろしくお願いします。
0:59:11	それから、MCNPコードの検証のところなんですけど、
0:59:17	ここは全部、
0:59:19	情報非公開かと思えますので、
0:59:22	ちょっと録音止めてもらっていいですか。
0:00:05	喘息を再開いたします。
0:00:10	西郷さんからは磯家
0:00:13	次に閉じ込めの説明はすみません、一つだけちょっとパワーポイントで説明し、
0:00:20	できなかったんでちょっと資料の方ですね、
0:00:24	MCNPVIとMCNPV Ⅱの差の話です、
0:00:31	ちょっと今、ご説明できなかった。
0:00:34	この附属資料ではですね。
0:00:38	47 ページのところなんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:44	MCNPCXOMCファイルクラブで清エネルギー
0:00:49	言バーあ、それ。
0:00:51	線量当量に対し、忠内、0.45MeV以下の
0:00:58	γ線有償の改善や、計算速度パフォーマンスの向上等が改善されているが、
0:01:06	指定金融キャスクの遮へい機能におけるガンマ線中性子への決算結果には差がないという、一部を、
0:01:13	付記してございます。
0:01:18	ちょっと覚えてない。
0:01:29	はい、規制庁も、
0:01:32	あと私から、
0:01:37	遮へいの
0:01:39	説明資料で、
0:01:41	先ほど、
0:01:43	文章表現について、
0:01:45	終わりました。
0:01:47	ちょっと全般的に、資料の、
0:01:50	副リーダー。
0:01:52	いろいろ
0:01:53	表現、
0:01:57	また、あとはその用語の行為っていうところがなかなか不整合なところ。
0:02:03	見受けられる。
0:02:06	ちょっと今から、
0:02:07	気になった点を言いますので、
0:02:11	まず、補足説明資料で、
0:02:16	17 ページ目。
0:02:25	上から、
0:02:29	事業のところの、
0:02:32	何が決まる。
0:02:34	工夫は、
0:02:42	文書。
0:02:45	はい。
0:02:47	関係が、
0:02:52	もうちょっと、
0:02:53	適切な表現があるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:01	令和。
0:03:06	15 ページ。
0:03:10	76
0:03:25	4、
0:03:34	ゆっくりとで救世主。
0:03:44	一行目ですね。
0:03:54	そのあたりちょっと表現、
0:03:59	用語の、
0:04:01	統一がとれてないところが、
0:04:11	急性期及び本間家の密度、
0:04:19	このあたり、
0:04:27	制限。
0:04:33	21 ページ目の一行目、メッシュごとの、
0:04:38	中国、
0:04:42	はい。
0:04:45	27 ページ目。
0:04:48	12 条の 13 条線量当量っていうものがね、これ線量当量率じゃない。
0:04:56	あと同じページの 24 ページ。
0:04:59	ウノ。
0:05:02	或いは顧客の側面では、
0:05:06	同じページの下から 2 行目で、
0:05:08	中性子線っていうところも修正し、
0:05:15	あと 50 ページの 12 行目。
0:05:17	以上の
0:05:21	日ではない。
0:05:24	単位で、ちょっと適切では、
0:05:27	こういったところが、ちょっと、
0:05:30	より、
0:05:31	表現として見直す必要がある。
0:05:35	要望として、こういったと。
0:05:38	その他いろいろ
0:05:42	そういったところは、遮へいの資料に限らず、
0:05:45	他の資料、補足説明資料をもうちょっとしっかりしてる。
0:05:51	ゴコウさん。
0:05:52	僕があれば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:56	はい。衛藤。今幾つかの例挙げてもらいましたけども、
0:06:00	衛藤。
0:06:02	もともと外国語から日本語に翻訳したものがベースになってると思いますのでそれがちょっと残ってて、日本語的に、
0:06:11	意味が、
0:06:12	不明瞭っていうところがかかなり多いかなと。
0:06:16	思います。
0:06:17	それが残っていると審査するとき、これはこういう意味ですよっていうのを一つ一つ確認していかないと、こちらとしても自信を持ってこれは妥当ですねっていう結論に、
0:06:29	ならず
0:06:31	もうその確認だけで1課のヒアリング全部終わっちゃうとか、なりかねませんので、
0:06:37	日本、日本語として、
0:06:41	また、正しいというか、
0:06:45	意味も理解できるような表現に、
0:06:48	特に、特に技術的にちゃんと
0:06:51	技術的な日本語として意味がさ、はっきり明確になるような表現に、
0:06:57	直して欲しいというのと、
0:07:00	まず、用語の不統一があったり、
0:07:03	一部は省略されてるけども一部は全部出てきたり、
0:07:07	っていうところ。
0:07:11	例えばゆっくりとテイキヤクする中性子っていうお話がありましたけども、これは、
0:07:19	これ線源強度の話をしてるところなんですけども、中性子の冷却って基本的にエネルギーを落とすという意味、技術的にはなってしまうので、
0:07:28	線源強度を落とすって意味にはならない。
0:07:31	っていうところで、ちょっとおかしいんじゃないかと。
0:07:34	それから目的の堆積から離れるまでの履歴。
0:07:38	これはおそらく、MCNPで定義している計算体系。
0:07:43	の外側に出てしまうまでのっていう意味だと思うので、そういうところの意味がわかるようにして欲しい。
0:07:50	であるとか、
0:07:54	用語の統一だとしたら例えばメッシュごとの検出器って言われてるところがあれば、メッシュたりって呼ばれてるところがあったり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:02	その辺統一して欲しいのと、
0:08:04	この検診、MCNPの検出器の話だと、滞在セキ検出器とメッシュごとの検出器と、何とかたりっていうのとバラバラに出てくるので、
0:08:15	そういう意味では、この
0:08:17	目仕事の見識メッシュ度っていうのはこれも体積検出器の一つなので、
0:08:22	それもうまく意味が伝え伝わるように、何かしらの用語に統一して、
0:08:29	区別できるように、
0:08:31	ていうのと同じものだっていうのがわかるように、
0:08:34	なっていればこちらとしても理解が進みますので、
0:08:39	そういった視点で、全体的にチェックして、
0:08:46	もらえればいいかなと思います。
0:08:53	タダフジイ
0:09:01	規制庁マツノです。
0:09:03	では、遮へいについては、以上になり、
0:09:06	閉じ込めワ一資料見る限り、多分先行の、
0:09:12	内容とほぼ、
0:09:14	同じかなと思うんですけども、
0:09:17	何かその中で、何か優位点とか、
0:09:19	何か特徴的
0:09:22	その部分だけちょっと説明をお願いできれば、
0:09:26	はい。J-Rジャパンの三枝です。
0:09:30	閉じ込めは、前回と比べて直したところは先行例を参考にしたというところ
0:09:42	です。
0:09:42	パワーポイントで、
0:09:47	説明させていただくと。
0:09:49	おっきなところだけ。
0:10:30	すいません。
0:10:32	一番、
0:10:33	おっきいという意味では
0:10:37	基準漏えい率を計算するときに、
0:10:42	先行例では蓋間空間の、
0:10:46	ガス、
0:10:49	キャスク内部にだけ漏えいすると。
0:10:53	いうシナリオで、
0:10:54	基準料率を計算していました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:58	先行例では、
0:10:59	GNSは蓋間空間のガスが、
0:11:04	と外側、つまり、
0:11:06	理事ムタを通過して外に、
0:11:08	漏えいするという部分を考慮して計算していましたところ、
0:11:14	そこを改めて、
0:11:16	すべて内側だけに、
0:11:19	漏えいするという、
0:11:21	仮定で、
0:11:22	再計算したというところ。
0:11:24	が大きいと思います。
0:11:30	その結果パワーポイントのもう3、53 ページで最後になっておりますけども、
0:11:39	基準漏えい率の数値、リークテスト判定基準、
0:11:43	それから設計漏えい率の数字、これらの数字が、
0:11:48	ほとんど変わらないんですけども、横断は変わらないんですけども、ちょっとだけ小さくなっているという結果になっています。
0:12:00	あと53 ページの右側の図は、先行例と同じような結果を見ましたので、そこに集中しております。
0:12:09	さらにちょっと言うと52 ページの表に計算条件を示してますけども、
0:12:17	前回までは計算条件を幅を持って示していましたが、
0:12:21	実際の計算のときに使った
0:12:25	ハバノナカノ。
0:12:27	一定の値に書き換えているところ。
0:12:32	前回からの改良点です。
0:12:35	はい。大体以上になります。簡単ですみません。以上です。
0:12:41	規制庁なんて、
0:12:43	全然
0:12:44	資料を見た限りでは、普段こちらとしても、
0:12:49	ヒアリングの場で確認すべき事項は、
0:12:54	取り込みに関しては、
0:13:01	本日の説明は、
0:13:02	これで以上で、
0:13:32	GNSJapanのサエグサです。我々の側からの説明は以上です。
0:13:38	こちらから何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:41	サクライさん、安部さん何かありますか。
0:13:44	特に、特にありません。結構です。
0:13:48	はい。
0:13:49	では、こちらからも特にありませんので、本日のヒアリングがこれで終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。